

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 1 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として年2回消防署の指導を仰ぎ、夜間想定で消防訓練を実施しているが、現実、日中、職員揃っている中での訓練の為、災害時、役に立つかどうか不安である。	火災や地震、水害時に昼夜を問わず、利用者が非難できる方法を全職員が身につけると共に、実践訓練及び実施頻度を増やす。	夜間訓練を職員、運営推進会議のメンバー、地域の人たちとの協力体制を強化して築いて行く	12ヶ月
2	49	グループホームは利用者一人一人の個別ケアが最も大事なことであるのに、施設側の都合で、ご本人の希望にそったのケアが難しい現状。	一人一人の希望に添って戸外に出かけ、できるだけ外気に触れるよう心がけ支援する。	毎月のレクリエーション、イベント、年2回の遠足だけではなく、日常的にあたり前に外出し、外の空気にふれ、季節感を味わっていただき、外出を日常的なものとする	12ヶ月
3	29	地域密着型のグループホームの存在を地域の人たちにあまり浸透していない	当グループホームを地域の人たちに開放できるような企画を立案し、地域の自治会、民生委員にご協力いただき、実現にむけて協働する。	1ヶ月に一度、3人～4人位、地域の人たちに遊びに来ていただくようなイベントを開催。ネーミングは開放ディカ、ふれあいディ	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。